

# 自然エネルギーの掘りおこしによる環境保全型産業の創出事業

## 奈良県五條市

### 概要

バイオマス資源(自然エネルギー)は、地球温暖化防止や、循環型社会の形成、農山村の活性化、戦略的な産業の育成など幅広い潜在能力を有している。これまで利用されていなかったバイオマス資源について、行政・産業・市民の連携のもとに新たな資源循環の流れを創出し、地域自然エネルギーとして総合的で持続的に利用できる仕組みを構築する。具体的には、以下の4つの事業を推進していく。

- I. バイオマス燃料利用促進事業: BDF事業化(廃食油の資源循環システム)、遊休農地活用ひまわり栽培
- II. 南朝の森林(もり)再生ネットワーク: 木質バイオマス利活用(林地残材搬出システムかカスケード利用)
- III. 廃棄物系バイオマスの利用促進: 堆肥化利活用(農作物残さ、生ゴミのたい肥化やその他有効利用)
- IV. 自然エネルギー利活用推進: 啓発推進(身近な資源を有効活用する学習会、イベント、広報紙作成)

### I. 燃料利用



ひまわり園と実証試験

### II. 森林(もり)再生



間伐実証事業

### III. 廃棄物利用



EMたい肥講習会

### IV. 啓発推進



環境フェア

### 事業の内容

#### 事業の内容

#### < I. バイオマス燃料利用促進事業 (BDF事業化部会) >

- ① 廃食油回収システム構築: 新規地区(田園地区)回収、公共施設への拡大
- ② BDF利用による車両影響調査(実証実験): 農業用トラクター及びパッカー車
- ③ ひまわり園栽培(実証実験): 市内遊休地でひまわり栽培、1反で20kg搾油
- ④ ゴミ分別収集見直し検討: 市民アンケートによる課題点の抽出と整理
- ⑤ 生ゴミコンポスト講習会開催: 平成24年2月26日、EMたい肥づくり講習会

#### < II. 南朝の森林(もり)再生ネットワーク(木質バイオマス利活用部会) >

- ① 間伐材全量搬出カスケード利用実証事業:
  - ・実証対象箇所: 6.05ha(所有者6名、樹種はスギ、ヒノキ)
  - ・作業期間と体制: 10月~2月、当初2名で1月より3名体制で実施
  - ・搬出量と収支実績: 260m<sup>3</sup>搬出、130万の赤字
  - ・間伐材受け入れ: 地域製材関係会社により引き取り、概ね良好な結果
- ② 低コスト搬出に向けた検討(部会における検討、ヒアリング調査)

#### < III. 廃棄物系バイオマスの利用促進(たい肥化等利活用部会) >

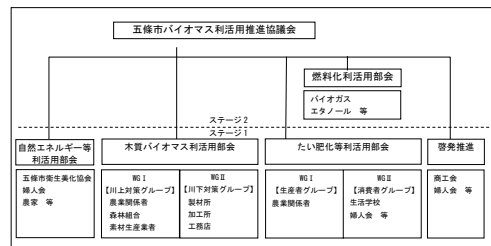
- ① たい肥使用者ニーズの把握: 農家アンケートによる課題点の抽出と整理
- ② たい肥利用推進検討(部会における検討)

#### < IV. 自然エネルギー利活用推進(啓発推進部会) >

- ① 市民啓発: 環境フェア開催(平成23年11月20、21日開催)
- ② 市民広報: みどり園だよりの発行

#### ポイント

- 「できることから始める」  
市民レベルでの具体的な行動
- 「地域資源の多様な利用可能性」  
遊休農地→ひまわり栽培→搾油等
- 「市民、行政、企業の密な連携」  
全7回の部会開催、実証事業の展開
- 「意識高め、暮らしを見つめる」  
啓発・広報や講習会による意識向上



#### 総事業費

13百万円

### 事業の成果

- ・行政、産業、市民による専門部会の開催及び実証事業を通じた作業を通じて新たな連携体制の構築が図られた。
- ・遊休農地の活用、公共施設排出の生ゴミや廃食油等地域資源の掘りおこしが図られた。
- ・間伐材全量搬出カスケード事業等、本事業を通じて川上から川下に繋がる新たな地域ビジネスの機会が創出された。